

第3回 代表者研修会報告

日時：令和2年2月14日（金）13:00～

会場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

司会：白井 悦子 副会長

1 あいさつ

(1) 静岡県養護教諭研究会

増田 真澄 会長

皆様、こんにちは。

本日も、御多用の中、県下各地から代表理事の先生方にお集まりいただき、ありがとうございます。この冬は暖冬とはいえ、急に冷え込んだり、昨日のように季節外れのような暖かさになったり、寒暖差が激しく、体調管理が難しい毎日です。

また、今年は、インフルエンザに加え、日々状況が変化している新型コロナウイルス感染症についての情報把握や職員への周知等、感染症に対しての危機管理意識を高く持ちながら、対応されていることと思います。新型コロナウイルス感染症の予防も、まずは手洗いと言われていきますので、引き続き保健指導を行い、予防に努めていきたいと思えます。子供を取り巻く健康課題が次から次へと浮上し、同時にいくつもの対応が求められています。先生方御自身も健康に御留意されて、年度末のお忙しい時期をのり切っていたいただきたいと思います。

今日は最初に、嬉しい報告をさせていただきます。11月に行われました「第58回静岡県学校保健研究大会」において、これまでの研究会の様々な活動をお認めいただき、学校保健功労団体として表彰していただきましたので、ご報告させていただきます。今後も、今回の受賞に恥じないように、研究会の活動を充実させていきたいと思えます。

さて、今期は、平成から令和へ新たな時代が始まりました。研究会のテーマを「養護教諭の職務を広げ・つなぎ・深めよう～養護教諭の基本的な職務を見直し、現代的なニーズに応える～」と掲げ、取り組んでまいりました。各種委員会の活動として、実践事例集では、養護教諭の不易な活動に視点をあて 全国養護教諭連絡協議会名誉顧問であります林典子先生監修の元、編集作業を進め、12月に発刊することができました。併せて、不易な活動の標準的職務を見直すことを目的に、冬季研修会を開催しました。研修会を通して、「どこの学校でも 何時の時代でも、児童生徒の健康の保持増進に寄与できる養護教諭の活動を推進していかなくてはと、強く感じた所存です。

本年度の活動反省のまとめは、この後の協議の中で、報告をさせていただきます。会員の皆様からは、多くの建設的な御意見・働き方改革に伴うご意見をいただいております。貴重なご意見を真摯に受け止め、次年度へとつなげていきたいと思えます。

最後になりましたが、本日も、御多忙の中、静岡県教育委員会健康体育課 教育主幹 岡村めぐみ様、静岡県学校保健会事務局長 細田英夫 様、顧問校長 内藤成彦 様に御出席をいただいております。御指導、よろしくお願ひいたします。

それでは、短い時間ではございますが、御協議の程よろしくお願ひいたします。

(2) 静岡県養護教諭研究会顧問校長

内藤 成彦 校長

4月から研究会の皆さんと一緒に活動をしてきましたが、研究会の活動や成果に素晴らしい研究会の活動だと感じています。そして、次年度からも研究会の活動を応援したいと思っています。

最近、私も心身の健康についてできる限り良いことをしたいと思い、休日にウォーキングをしたり、今日も階段を使って5階の会場まで上がってきたりと、普段学校の中で体に良いことをと考えて実践しています。

さて、新型コロナウイルス感染症については、様々な情報が流れており、私が住む御殿場でも情報が錯綜しております。すぐに御殿場市のホームページに情報は誤りだという記事が出ましたが、感染症の情報を正しく理解していないと大変なことになると感じています。アメリカでは、インフルエンザが大流行しており、今シーズンの罹患者が2千200万人で、1万2千人が亡くなるというように、世界を震撼させています。あらためて、感染症が学校現場の中で重きを置いて対策しなければならないと感じているところです。

先日、県の校長会理事会が行われました。静岡県校長会長羽田校長先生の講話の中の半分が養護教諭に関する話題でした。その内容は、養護教諭が毎年行っている実態調査の結果の内容でした。養護教諭のまとめた実態調査の数ページを印刷して配布し、養護教諭の実践を伝えてくれました。その結果を踏まえて、学校の中に運営委員会や企画委員会のメンバーに、養護教諭が入っているかということをお話されました。皆さんは委員会のメンバーに入っていますか？羽田先生は、養護教諭の日頃からの情報の多さや、子供を見る眼に、やはり養護教諭を学校運営に入れていくことが重要だということをお話されました。例えば熱中症のことが話題になりましたが、製氷機が保健室にあるかどうかという調査や、保健室のパソコンにメールが送受信できるかどうかという調査がありました。結果を見て愕然としたことが、西部のほうが様々な結果が高い値だったことを受け、すぐに翌日駿東地区に戻ってこの結果を伝え、養護教諭を学校運営の中に位置づけて活用していこうと話をしました。このようなことを言えるのは養護教諭の普段の活動実践があるからだと感じています。

ぜひ、今日はこの一年の反省を生かして次年度も充実した活動につなげていただきたいと思います。

(3) 静岡県教育委員会健康体育課健康食育班

岡村 めぐみ 教育主幹

皆さんこんにちは。

今、感染症対応や教育課程編成、次年度の学校保健計画にお忙しい毎日だと思います。まとめの時期でもあり、次年度につなげる大切な時だと思いますので是非先生方、お体に気を付けてお過ごしください。

10月から、養護教諭の6年次研修と2年目のスクールヘルスリーダー派遣事業の学校訪問に行ってきました。17校訪問した中で、特に2年目養護教諭の研修の中では、評価をしっかりと行うということを経験した先生方から御指導を受けています。取組の良かったことや、うまくいかなかったことを振り返り、さらに良くするにはどうすればよいか、うまくいかなかったことを改善するにはどうすればよいか等を一つ一つ丁寧に評価をしている様子が伺われました。「評価をする」ということの大切さを改めて感じました。代表者会に参加している養護教諭の皆さんは、各地区で、リーダーとなる立場の方々だと思います。今後、若手育成も兼ねて、ぜひ若手養護教諭の取り組んでいることや研修にも目を向けていただけたらと思います。該当の先生がいましたら、

ぜひ地区に戻ったところで、この一年の研修の様子について、声をかけていただき、聞いてみてください。

本日も、次年度につながる良い代表者会になりますように御協力よろしく申し上げます。

(4) 静岡県学校保健会（資料 地区理事に配布済み） 細田 英生 事務局長

日頃は、養護教諭の先生方を代表されるお立場から、学校保健会にお力添えをいただきまして厚く御礼申し上げます。

本年度も早いもので2月半ばまでできて、私の担当している事業も来週の理事会、評議員会が一番大きな会となりこれで終わりとなります。

先ほど、内藤先生からもこの会が素晴らしい会だということについて話がありましたが、学校保健会の事務局長になって2年目となり、いろいろなことを感じています。課題も実際に多いのですが、県の養護教諭研究会の活動を見ながら県の学校保健会はどのような活動をすればよいのか、そしてどのような立ち位置にあったらよいのかという視点で見ることができているのではないかと感じています。皆様の活動は私にとってもベースになるものですから、次年度も一致団結して頑張ってやっていただけたらと思います。引き続き、学校保健会への御支援もお願いしたいと思っております。

今日は、事業報告ということで資料にまとめていますので、わからないところは目を通していただきたいと思っておりますが、少し触れたいところがありますので資料をご用意ください。

<令和元年度 静岡県学校保健会事業報告>

- ・第58回静岡県学校保健研究大会

令和元年11月7日 森町文化会館「ミキホール」

磐周の先生方には準備から実践発表まで、充実していた。次年度は三島市が開催となるため、よろしくお願ひしたい。

- ・第42回中学校・高等学校生徒保健委員活動発表会

令和元年12月25日 静岡県教育会館大会議室

生徒が保健発表をしている県はあまりない。生徒が行っている保健活動を発表し、認めている場がなかなかないため、生徒さんや先生方ご自身が普段やられていることを認めていくための場として今後も続けていきたい。次年度も多くの学校に応募をお願いしたいため、少しでも参加しやすい環境を作と考えている。これまで発表時間を20分という時間設定でしたが、時間が長いという指摘があり、今後必要な時間を示していただき短い時間でも応募していただけるように考えている。

- ・第48回学校保健新聞コンクール

19校が応募（児童生徒の部 15校 教員の部 4校）

特選校の作品は「会報」に掲載し、全ての学校に配布する

静岡県養護教諭研究会のホームページにも特選校の作品を掲載する

- ・静岡県学校保健会 学校保健功労者（団体）表彰

会長からも話があったが、静岡県養護教諭研究会を今年度表彰させていただいた。

- ・日本学校保健会 令和元年度全国健康づくり推進学校

浜松市立東部中学校（優秀校・特別協賛社賞） 静岡市立安西小学校（優良賞）

※その他細かい表彰などについては、別紙を御覧ください。

次年度も、静岡県学校保健会の活動に御支援よろしくお願ひいたします。

(5) みどり会(静岡県退職養護教諭会)

大澤 富子会長 鈴木 朝子副会長

大澤会長：役員会の貴重な時間をいただきありがとうございます。

先日、事務局の方から「たちばな」、「事例集」を送っていただきました。現職の方の努力の結晶に感動いたしました。素晴らしい冊子で、これを見ても県内の養護教諭のまとめ、つながりを強く感じます。ぜひこれからも続けてください。私たち退職者も、ワンチームを合言葉に活動しています。内容については、副会長の鈴木朝子さんお願いします。

鈴木副会長：会の紹介をさせていただきます。9月熱海で実施した総会には、来賓の静岡県健康体育課健康食育班教育主幹の大石様、研究会の東部副会長の臼井様に御出席いただきありがとうございました。学校における危機管理が問われている中で、行政やキャリアステージ時代に合わせた指導や、養護教諭の職務の見直し等、現代的なニーズに応えるために努力していることなどについてのお話を伺うことができました。また、産休育休等による講師を探すのに苦労されていること等も耳にしております。少しでも協力できればと思っております。

本日、お手元に今年度の「退職養護教諭だより」をお配りいたしました。9月の「静岡県総会」の様子がまとめられておりますのでご参照ください。

さて、現職の研究会の皆さんの動き、県教育委員会との連携、また校長会の先生方の御指導、御助言はOBの私たちにとっては、本当に貴重なものです。現職時代様々な場面で感じてきた「連携と協働」「情報の共有」「資質の向上」「仲間づくりや支え合い」等、このことが本県の養護教諭の力となり、全国的にも優れた力となっているのだと改めて感じております。

退職養護教諭会は、令和元年当初時点での会員数76名です。小中学校養護教諭の退職者、高等学校養護教諭の退職者、特別支援学校養護教諭の退職者が会員で、年会費2000円で運営しております。会員相互の親睦を図り、教養を高め、見聞を広めることを目的に、平成4年に発会しました。一部の会員は、産休講師、新規研修の指導者、スクールヘルスリーダー、スクールカウンセラー、また学校相談員として現職で活躍しております。また、修学旅行や宿泊訓練時には、保健室での勤務を依頼されたり、学校長からお声がかかったりすると、時間が許す限りお助けウーマンとしてお役にたっているものではないかと自負しております。退職してから見えてくるものもあり、皆さまのお邪魔にならないよう助言をさせていただいております。以上静岡県退職養護教諭会の紹介及びサポート事業の紹介をさせていただきました。

最後に、お願いですが、ここにおいでの皆様のお知り合いで、今年度末に退職予定の方がいらっしゃいましたら、退職養護教諭会の紹介と入会をお勧めしていただけると幸いです。貴重な時間をありがとうございました。

2 静岡県教育委員会所管事項

静岡県教育委員会健康体育課健康食育班 岡村めぐみ教育主幹
(資料 地区理事に配布済み)

1 保健管理について

(1) 感染症への対応

日々、報道が絶えない新型コロナウイルス感染症、そしてまだまだ油断ができないインフルエンザ等、感染症対策については、感染経路等を踏まえて適切に予防策を講じること、そして重症化・まん延化させないために早期発見・早期対応に努めること

が重要となっています。そのために、まず手洗いうがいの励行、環境衛生にかかわる日常点検や健康観察の実施などの日常の取組を特に大切にしていきたいと思えます。

特に、各学校において、エアコンの設置が進んでいる中、適切な換気の実施に加えて、温度や湿度、気流などを考慮して総合的に判断して対応することが大切です。児童生徒の健康状態を観察したうえで、衣服による温度調節も含めて適切な対応と状況に応じて必要な健康に関する指導の充実をよろしく願いいたします。環境衛生マニュアルに細かい配慮事項が書かれていますので、その都度確認して対応をお願いします。

さて、新型コロナウイルス感染症については日々変化する状況にご対応くださりありがとうございます。2月10日付で対応の変更があり、お知らせをしたところですがさらに追加事項がありましたのでここでお知らせします。

ここに記しているものは、2月10日付の文書となりますので、少し追加となります。湖北省に浙江省が追加となります。（すべて、湖北省から浙江省が追加となる）

症状がない場合は、2週間厳重な健康観察が必要とされるということで、そこには大きな変更はありません。来週には、文書が出ると思いますのでご確認ください。

連絡先「帰国者・接触者相談センター」は、保健所に設置されていますので保健所に連絡をお願いします。

文部科学省のホームページに文部科学大臣のメッセージが出されています。一部読ませていただきます。

新型コロナウイルスを理由としたいじめや偏見は、決して許されることではありません。今後も、中国から多数の子供たちが帰国することが予想されます。住み慣れた地域や学校を離れてつらい思いをしている子供たちや、感染拡大の防止に向けて懸命に働いているご家族を持つ子供たちを傷つけるような、心ない言葉や態度がとられることがあってはなりません。教職員の皆さんにおかれては適切な対応をとっていただくとともに、保護者の方におかれてもご配慮をお願いいたします。

文部科学大臣 萩生田 光一

以上、人権を配慮した対応なども含めてお願いいたします。

状況の変化によって対応の変更が多々でてきますので、情報の更新や追加補足、留意事項の確認をその都度お願いいたします。

続きまして、インフルエンザに関しても引き続き予防指導と対応をよろしく願いいたします。今年度、県立学校におけるインフルエンザの治癒証明書の取り扱いについて変更したことから、各市町においても、県立に準じてご対応いただけた地区が多くあったと思います。この様式や対応の変更にあたって、医師会との連絡調整や校内での周知・共通理解など大変だったかと思いますが、流れが浸透するまではいろいろな課題や意見が上がってくることと思います。今後、不都合な点や課題がありましたら、ぜひお知らせ頂ければと思います。医療機関によっても実態が様々なので、準備段階や流行初期には問い合わせも多くありましたが、今のところ大きな問題もなく進んでいるかと思えます。これも、適切にご対応していただけたおかげだと感じています。今後も、体制の確立に努めていきますので御協力お願いいたします。

年間を通して様々な感染症対策の対応が必要となってきます。各校にある冊子『学校において予防すべき感染症の解説』、『学校における結核対策マニュアル』、『学校における麻疹対策ガイドライン』を参考にさせていただいて、予防を含めた対応をよろしくお願いいたします。

(2) 現代的健康課題への対応

脳脊髄液減少症とアレルギー対応について、今年度御協力いただきました実態調査の結果を一部載せさせていただいております。いずれも増加の傾向にありますので、これまで通知させていただいている文書やガイドラインを参考として適切にご対応ください。エピペンが処方されている児童生徒数も増えてきています。また、学校でのエピペン使用件数も多くなっています。教職員の共通理解や学校体制の確立、研修等、各校の実情に応じて文部科学省からの資料を活用しながら指導を進めていただきたいと思っております。オレンジの表紙の『学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン』冊子が、今年度末に改訂版が発行されることになっています。順次発送されますので、お手元に届きましたらご確認いただきたいと思います。その中で、学校生活管理指導票も一部変更があると聞いていますが、当面は、今、静岡県版（2018年2月の様式）として出させていただいているものを引き続き御使用いただきたいと思います。

(3) 学校環境衛生については、お読み取りください。

(4) 色覚についての健康相談体制の確立

各市町によって取り組みも違っているようです。静岡県教育委員会から平成27年3月に出示された通知に、例として流れが示されているので、参考にして、市町の実情に応じて実施を進めてください。

2 保健教育

(1) がん教育の推進

本年度、御協力いただいた調査は、平成30年度の実施状況になります。平成29年度に比べると伸びていますが、実施率は、小学校では47.6%、中学校では64.9%、学校保健計画への位置づけについては、小学校では17.5%、中学校では22.7%と決して高い数値ではありません。体育科、保健体育科を中心に各教科等との関連を図って、教育活動全体を通して実施するためにも学校保健計画に位置付けて実施していくことをお願いいたします。外部講師の活用も含めて、学校任せではなく、各市町、地区で取り組みを進めていただきたいと思います。健康福祉部から、『生活習慣病予防のための啓発媒体』について資料をいただきました。冊子等は、小学校に配られており、授業で使える資料が入っていますので、中学校の先生方も近くの小学校の先生に見せていただくなどして確認していただくといいと思います。がん教育にも結び付く資料だと思いますのでぜひご確認ください。プリントの裏面に、活用した場合の報告書が付いています。

学習指導要領の全面実施に当たっては、小学校・中学校における保健教育について養護教諭の連携と協力が求められています。ぜひ、学習指導要領の解説の中の総則、体育編、特別活動編等については目を通していただき、学校の実情や健康課題に応じて適切に授業への参画ができるようお願いします。

(2) カリキュラムマネジメントの実現を目指した保健教育の推進

総則編の付録に、「心身の健康の保持増進に関する教育」にについて、カリキュラムマネジメントの参考資料も載っているので、それを参考にいただき、教育活動全体における保健教育が学校でも推進されるようお願いします。

最後に、今年度一年間通して振り返ってみると、子供の命に関わる事件事故、自然災害、感染症など様々なことがありました。事あるたびに感じることは、日常行っていることの大切さや日頃の備えの大切さでした。今一度、健康観察や環境衛生に目を向けていただくとともに、『いつもと違う』『何か変』というような、子供の変化や環境の変化に気づくことができる養護教諭ならではの感性を十分に発揮していただき早期対応につなげていただきたいと思います。

3 議事

(資料 地区理事に配付済み)

(1) 令和元年度静岡県養護教諭研究会冬季研修会の反省 山内幹事

- ・講演会の反省は、「とても参考になった」という意見がとても多かった。
- ・林先生をお招きして『不易な活動について』御講演いただいたが、不易な活動について今までやってきた職務の振り返りをするきっかけとなった。自己流のやり方で良いのかどうかという視点で振り返るきっかけとなった。
- ・午後のワークは、5つのグループに分かれてのワークだったが、とても参考になったという意見が多く挙げられた。
- ・事例集にのせてあるイラストはホームページからダウンロードできるようになっている。そのイラストのダウンロードができてよかったという意見もあった。ホームページについては、ワークの助言者の先生方のコメントも掲載している。
- ・「きんもくせい」にも冬季研の様子も掲載しているため、御覧いただきたい。
- ・会場の設営が午後のワークの隊形になっていたため、会場の作り方を講義形式のほうがよかったという意見もいただいた。今後の参考にしたい。
- ・ワークを各地区に戻って行いたいという意見があったが、ワークの資料については、各地区の参加者に聞いていただき、事例集も使いながら各地区でワークを広めていただきたい。

(2) 冬季研修会決算報告

太田会計

(3) 令和元年度静岡県養護教諭研究会活動反省

各担当者

(4) 各種委員会から

①会誌「たちばな 62号」について

伊藤委員長

- ・編集会議は年7回実施し、令和元年度12月2日に発行した。
- ・今年度から表記を「子供」に統一した。
- ・「研究のあしあと」で使用しているイラストなどの著作権の確認をきちんとしていきたい。
- ・「知りたい聞きたい」は、10年に一度の静岡県で開催した中部ブロック養護教諭部代表者会を会員の皆さんに周知できた。
- ・「研究のあしあと」は、地区に偏りのないように、受賞者に限らず実践を紹介したい。
- ・原稿作成は一太郎が開かない学校があるため、今後Wordのみとしたい。
- ・購入希望数が年々減少しているという課題から、ページ数を調整して価格を下げた。
- ・価値あるたちばなの編集であるため、内容を精選しながら検討していきたい。
- ・各種の研究の受賞者を調べていただき、3月19日(木)までに連絡をいただきたい。用紙は事務局より連絡がある。

②「実践事例集16」について (資料 地区理事に配付済み) 杉山委員長

- ・編集会議は年5回実施し発行することができた。
- ・今回の事例集は、追加購入も多く好評をいただいている。
- ・各地区の会員の皆様には、事例提供から購入手続きまで御協力いただき感謝申し上げます。
- ・イラストカット集がホームページからダウンロードできないという意見があった

が、セキュリティの関係があると考えられる。

- ・ホームページマークのものをダウンロードしたいがうまく見つからないという意見があった。静岡県養護教諭研究会のホームページを開き、左側のトップページの発行図書か、または新着情報の中の事例集 16 ダウンロード資料のいずれかをクリックしてもらおうと、ダウンロード画面に移る。

③調査研究：令和元年度養護教諭にかかわる実態調査の実施について

(資料 地区理事に配付済み) 白井委員長

- ・目的などはお読み取りいただきたい。
- ・今年度項目を検討して変更した。

1 学校基本調査

問4 保健室登校・別室登校について⇒保健室登校や不登校の考え方が、「教室復帰」や「学校復帰」だけを目的とはしないという方向へ変わってきているため、養護教諭が保健室登校児童生徒へどのような支援をしたかという内容に変えている。全養連の項目とも合わせている。

問5 心の健康に問題を抱える児童生徒への支援した事例について⇒正確な人数の把握が難しいため、支援事項についての調査とした。

問7 WBG Tを測定できる器具の有無 ⇒ 100%に近いため削除した。

問10 武道に関する質問 ⇒ 指導が定着したため削除した。

2 養護教諭の基本調査

問1 産休・育休・特休などの方の経験・年齢も追加調査することにした。

問3 (1)の研修内容の一部変更(新しい言葉)と、(3)新たな項目の追加を行った。

- ・注意事項はお読み取りいただきたいが、小中一貫校については、小学校入力の際と中学校入力の際で回答方法が違うため注意して入力していただきたい。

- ・今後の日程

2月17日(月)に事務局よりメール送信(資料1、2、3の①②③④⑤)

2月下旬 各地区理事より各校に送信

3月23日(月)までに地区理事は浜北北部中へメールで提出

<養護教諭実態調査集計方法(別紙)>

- ・送信時には、パスワードがかかっているので、パスワードを入力してから操作する。(パスワードは、全て小文字で理事に伝達している。)

(追加説明)

- ・最初に実態調査というフォルダーを1つ作る。そこにメールで送られてきた地区集計ソフトを入れる。この中に「小学校地区集計」「中学校地区集計」というフォルダーを作り、送られてきたものをコピーして「小学校地区集計」「中学校地区集計」のそれぞれに入れる。(この時点では地区名を入れない)

(質疑内容の確認)

- ・実態調査を理事が配布する時、各地区で学校番号を追記して配布すると整理し

やすい。

※わからないことがあれば連絡いただきたい。

④ホームページ編集委員会より (資料 地区理事に配付済み)

土屋副委員長

- ・随時アップをしている。冬季研修会の内容も2月10日にすでにアップされているので確認してほしい。
- ・発行図書のご案内、研修会案内についても随時掲載している。
- ・保健室訪問のページについては、今年度新たに保健室紹介のページを設けた。掲示物7校、保健室紹介は6校の合計13校について掲載している。
- ・今後は、第3回代表者研修会の報告、学校保健新聞コンクールの特選受賞作品、「きんもくせい」をアップ予定である。
- ・ホームページ掲載については、いろいろな問題があり、掲載承諾をいただき進めていたが、学校長の承諾を得て慎重に扱っている。
著作権の問題もあるため慎重に扱っている。
- ・保健室訪問の学校リンクが10校あったが、リンク切れの学校や掲載されていない学校があった。養護教諭の異動によりそのままになっている学校もあるため、今年度末で掲載を終了するという事になった。それに代わって、先ほど紹介した『保健室紹介』という形で、保健室の写真を載せた紹介を載せているので御覧いただきたい。
- ・今後トップページの精選を行っていく予定。
- ・更新を頻繁にしてほしいという声があるため次年度の課題としたい。
- ・「保健室訪問」については、年に一度掲載する編集計画であったため、1月末にアップした。活動反省をとった時期には、アップされていなかったため、アップされていないという感想があった。次年度からは、年内にはアップするように計画を立てたい。

⑤組織検討委員会より

加藤委員長

- ・本年度、組織対策委員会は政令市の情勢に変化がなかったため、委員会を開催しなかった。
- ・静岡市、浜松市両政令市の代表と連絡を取り合い、静岡市は大きな変化無く今まで通り研究会への加入を継続していく。浜松市においては、一年毎に検討していくということであったが、浜松市の組織検討委員会が開催され、来年度も加入継続の意向である。

⑥役員選出委員会について (資料 地区理事に配付済み)

望月委員長

今年度は、役員選出委員会を2回開催した。また、会長候補者・副会長候補者の所属校へ訪問させていただいた。

令和2・3年度 静岡県養護教諭研究会の役員について、内定者の一覧をあげさせていただいた。会則の改正から会長は、静東管内から、副会長は4地区から選出した。幹事・書記は、東部・中部・西部の3ブロックから、事務局・会計について

は、会長地区から選出した。

本日の代表者研修会で地区理事の先生方に承認をいただき、正式決定となる。各地区理事の先生方には、会長、副会長候補者の推薦、さらに、内定に至るまで大変お世話をおかけしたことを感謝したい。また、幹事・書記・事務局・会計の選定の際にも、該当地区の理事の先生方にお力添えいただき、推薦された候補者から、無事に決めることができた。ありがとうございました。

なお、地区理事の先生方をはじめ会員の皆様からの御意見は、今後の役員選出の際に生かしていけるように引き継いでいきたい。

採決の結果、挙手多数で承認となった。

4 報告

(1) 研究大会等参加報告(資料 地区理事に配付済み)

① 全国学校保健安全研究大会

杉山副会長

(内容) 表彰式 文部科学大臣賞 「学校保健の部」「学校安全の部」
「学校安全ボランティアの部」

記念講演 「子供のインターネット利用と健康」

埼玉大学 教育学部 教授 戸部 秀之 様

インターネットの光と影についての講演をいただいた。講演では、埼玉県学校保健会の取組、インターネットの利用状況とそのリスクについての調査、調査を通じての提案があった。小中学校ではインターネットというリスク側の健康被害が多いと感じられると思うが、幼児の保護者に行った健康調査ではプラスの効果、例えば、インターネットに触れることで知恵や知識がついた、楽しみが増えたというような安心感を抱いている結果が多くあり、それぞれの意識が違うといったお話があった。そこからつながる様々な問題性についてまだ幼児の保護者は気付いていないのではないかということがうかがわれる結果だった。このようなことから提案として発達段階に応じたルールづくりはもちろんだが、年少児への ICT の与え方を考えることも必要となるというお話もあった。課題別研究協議では、保健管理、心の健康、学校環境衛生、学校事故防止対策について参加した。

② 社会教育委員会

臼井副会長

第36期社会教育委員会 諮問内容 「社会教育と子供の貧困」

2年間で12回の会議において、諮問内容である子供の貧困について協議をすることになっている。現在は8回まで終了している。様々な立場の方が参加をして社会教育の中で子供の貧困に対して何ができるかを協議している。子供の貧困については国の施策としても考えていくことになっている。県の事業としてもいろいろな関係団体が貧困についての計画、支援等をしていくことになっている。第5回では、子供たちの現場の様子を知りたいという委員の方からの要望があったので、小・中・高校での子供の実態、福祉現場での実態ということで中学生の実態について話をした。担当の社会教育課の方から社会教育委員のメンバーに養護教諭が加わるのは初めてのことで養護教諭に期待をしていると言われている。子供の実態をよく知っている養護教諭が子供の貧困対策について意見を述べてほしいという要望が社会教育委員会からもあ

った。

今後、最終的には報告書を作成して教育委員会に報告することになっている。

5 連絡

<会長>

活動反省の中から名簿作成についての意見があったが、5月に全国養護教諭連絡協議会に報告することもあるため、名簿作成については次年度以降も作成することをお願いしたい。個人情報の取り扱いについては十分気をつけていきたい。御協力を願いたい。

(1) 令和2年度会員名簿の作成について（資料 地区理事に配付済み）

宮谷書記

- ・後日事務局より、今年度の理事の皆様①から③のデータをメールで送付。
- ・3月24日（火）までに、事務局より、次期書記（名簿担当）の連絡先を連絡。
- ・次年度理事が変わる地区は、令和2年度の名簿を作成する理事などに、名簿担当の連絡先や名簿作成に関する内容を確実に伝達する。
- ・（名簿－B）の令和2年度静岡県養護教諭研究会名簿作成資料記入については、4月上旬に地区で回収できるように提出日、提出先を入れて会員に依頼する。
- ・令和2年度の名簿を作成する地区の担当者は、3月26日（木）から4月3日（金）までに次期書記あてに、メールを送付。返信という形で次期書記より前年度のデータをメール送付。
- ※4月9日を過ぎても届かない場合は次期書記に連絡すること。
- ・名簿の作成は、パスワードを入れてデータを開きデスクトップなどに保存などして作成する。
- ※パスワードは理事に伝達している。
- ・留意点や名簿見本を確認すること。※会員数は会費の納入にも関わる重要な資料となる。
- ・地区データ 確認表の変更について。小中一貫校や義務教育学校などの新設に伴い、学校の名称も変わってきているため、令和2年度より、正式名称を記載していただく欄をつける。
- ・地区名簿で送っていただいた学校名が 市町合併後も名の変更されておらずそのまま人数のみ変更してそのままになっている学校もあるため、学校の名称が変更になった場合も、必ず確実に変更する。
- ・データと、確認表作成後、4月23日（木）までに次期書記（名簿担当）あてにメール。
- ・今年度のデータは、年度末に必ず削除すること。

<質問>・小・中一貫学校で養護教諭が兼務の場合は、小学校の会員に入れることになっているが、義務教育学校でない場合、小・中どちらかに一人在籍することになる。在籍が中学校で小学校が未配置校となることもある。その場合は、中学校の会員に入れて小学校は未配置校にしていいのか。

<回答>・そのように記入して提出をしていただきたい。

<質問>・名簿を作成してから次年度の地区理事に引き継いでいるが、年度末の異動があった場合、自分が異動した先の学校のメールアドレスを次期書記に送信する方

法でいいのか。

<回答>・そのような地区もあると思うが、新名簿の作成となるため、異動となった場合は異動先の学校のメールアドレスを次期書記に送信していただきたい。

(2) 令和2年度理事氏名の報告について(資料 地区理事に配付済み)

松本事務局

- ・次期地区理事の氏名を記入し、3月23日(月)までに次期事務局に報告していただきたい。
- ・異動等の理由で3月23日までに報告できない場合は、次期事務局に電話でそのことを伝えていただきたい。

(3) 会報「きんもくせい」について(資料 地区理事に配付済み) 望月書記

- ・今年度も担当地区の地区理事の紹介を書きいただきありがとうございました。
- ・本日、「きんもくせい121号」を配布した。裏面は冬季研修会についての内容となっている。ホームページとあわせて見ていただきたい。
- ・今年度最終号「きんもくせい122号」を作成している。発行時は事務局から地区理事宛にメールで送信するため会員の皆様に配布していただきたい。

(4) 各地区から

<質問>・健康診断票を印刷する用紙について教えてほしい。

<回答>・パソコン入力で健康診断票を作成している地区の方に挙手をお願いする。

その方に質問で、上質紙(厚めの紙)で印刷する地区は3地区。普通の紙は4地区。

(5) その他

- ・全国養護教諭連絡協議会第25回研究協議会について
 - ・2月21日(金)の当日、受付近くに静岡県養護教諭研究会の札を持って立っているので旅費を忘れずに受け取ってほしいと連絡を入れていただきたい。
 - ・当日欠席の場合は、事務局の学校へ連絡をお願いしたい。

<会計から連絡>

- 1 来年度の会計納入について今までは公費扱い(公)で研究会会計に振り込みができていたが来年度からは公費扱いができなくなる。そのため来年度から振込手数料がかかってしまうため、申し訳ないが各地区で振込手数料の負担をお願いしたい。金融機関によっても手数料は違ってくると思う。次期地区理事に引き継ぐときに各地区の予算を立てる中でもお願いしたい。
 - ・たちばなと事例集についてはどうか。
 - ・郵便振り込みのため変更はない。
- 2 たちばなと事例集の代金の確認ができた。請求書、領収書も発送した。

<事務局から連絡>

- ・依頼事項について別紙で確認をお願いします。

<会長から連絡>

・フレンズ YOUGO について

- ・2019年度の活動報告、裏面には、2020年度の研修会について記載されている。2019年度、7回の研修会を実施していただいている。養護教諭の資質向上のために先生方が内容を考え研修会を開いてくれた。感想等はお読みとりいただきたい。裏面についても林先生から連絡をいただいている。積極的な参加をお願いしたい。

・聖隷クリストファー大学調査依頼

- ・養護教諭を対象とした調査に協力をいただきたい。内容については、児童生徒の対応に関して学級担任のとの間でどのように養護教諭が関わっているかという内容についてと日頃大事にしていることについて教えてほしいという内容での依頼がきている。調査の対象校は、県内全校ではなく、地区でお願いしたい校数を割り振りしてある。その校数で各地区の中でのなるべく年齢別、校種別で均等になるように割り振りをお願いしたい。決まったら事務局に連絡をしてほしい。聖隷クリストファー大学から郵送で依頼調査用紙が届くので回答し、3月27日までに郵送で提出していただきたい。

・LGBTの調査結果について

- ・来年度5月の第1回代表者研修会の時に鎌塚先生から報告していただき結果を返していくとの連絡があった。

・日本スポーツ振興センター運営会議について

- ・運営会議が3年に1回行われている。少しでも学校に負担をかけないように保護者への説明を分かりやすく改善してくれたり、医療等の状況についても書き間違えなどがないように裏面に書き方を記載してくれたりなど現場の声を聞きながら改善してくれている。

入力に関する説明会などを計画している地区があるようなら積極的に説明会に行かせてほしいという話をいただいているため、名古屋支所へ連絡してするなど検討していただきたい。

・予防医学協会からのお知らせ

- ・学校保健セミナーが3月10日に行われる。今回は、がん教育についての内容になる。まだ募集しているので連絡させていただいた。

・日本健康相談活動学会 第16回学術集会

- ・プログラム、ワークショップの詳細について配布させていただいた。今回は、静岡大学の鎌塚先生が学会長になる。夏季研修会でもご案内させていただいたが健康相談活動ということで養護教諭にとっても大変参考になる内容である。当日参加、1日参加でもいいということなので連絡させていただいた。

<地区理事より要望>

- ・資料の中に静岡県内の地区や市町の区切りが分かるような地図を載せていただくと、より地区の様子がわかるので検討していただきたい。

～ 会長より ～

理事の皆様には、研究会の活動をいろいろな部分で支えていただきありがとうございました。さらには、研究会と地区を結ぶ役としてご尽力いただき、年々毎年パイプが太くなっていくと感じています。お礼申し上げます。

今期、顧問校長の内藤校長先生に御指導いただき、そして理事の先生方に支えていただきながら2年間務めることができました。ありがとうございました。今後も研究会のここまでの歴史を感じながらさらに発展していくように努力して参りますので引き続きお力添えをよろしく願いいたします。

次年度、第1回代表者研修会は5月18日（月）、「あざれあ」で開催することになっていますので、次の方への連絡も願いいたします。

本当にありがとうございました。